

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	低所得者福祉	コード	作成者	役職	所長
		02-01-09	氏名	山口和夫	
			電話	64-1824	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	低所得者に対する制度が確立されているが、きめ細かい指導援助と自立助長をします。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	経済的に生活基盤が弱い高齢者、疾病者及び障害者など、生活の安定が損なわれている低所得者については、生活保護制度をはじめとする救済措置が確立されているが、自立助成を図るためきめ細かい指導と援助の充実が望まれている。今後は、要保護者に対して自立意識の高揚及び就労に向けての指導を行うとともに、増加している高齢者、疾病者及び障害者の方々の生活に関する多様なニーズに対し、関連機関と連携して自立に向けての指導と援助をしていくことが課題となっている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 生活相談及び指導の充実 生活保護の適正実施と処遇の充実 社会保障制度の適正実施と処遇の充実 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 生活保護相談・指導事業	B	生活保護事業	ソフト事業	3,388	12,945	1,910	10,635			
		生活保護適正化事業	ソフト事業	611		653	1,670			
2 保護費等支給事業	A	法外援護事業	ソフト事業	232		82	233			H18完了
		行路死亡人取扱費	内部管理	0	17,866	164	233			
		生活保護費支給事務	法定事務	283,247		273,896	14,164			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	318,289	303,640	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

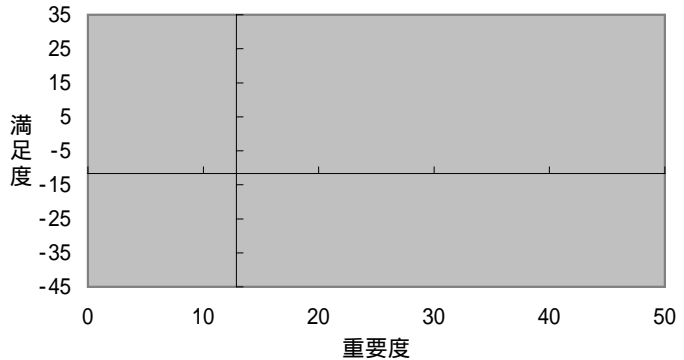
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
ハローワーク・福祉事務所	就労支援のための事業	保護世帯の自立に向け、就労支援プログラムを策定し、計画的な就労支援を行う。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	被保護者のニーズを考慮した指導を行っているが、指導したことによって必ず世帯の自立に繋がるわけではないので、目標設定が困難である。	3	社会保障としての給付は達成されている。
2 事業構成の適当性	4	被保護者の自立に向けた施策としては、有効である。	3	生活保護相談・指導は重要であり事業構成は妥当である。
3 施策の有効性	4	生活保護法等法律に基づく事業であり、有効である。	4	社会保障制度の意義や効果を考えると有効な施策である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	母子加算の減額等、今後生活保護施策が大きく変わっていく中で、被保護者の状況や自立阻害要因を類型化し、それぞれの類型ごとに対応する個別の支援プログラムを策定する必要がある。		社会経済情勢、家族形態の変貌等に対応するためにも、保護基準や制度・運用のあり方を的確に捉える必要がある。	
二次評価者コメント 役職 保健福祉部長 氏名 鷓川 晃匠	生活保護法に規定されているように、単に生活に困窮する国民の最低限度の生活を保障するだけでなく、保護を受ける者が自立して社会生活を送ることができるよう、自立助長が図れるよう指導、助言をしていくことが重要である。平成20年度予算の方向性としては、引き続き自立助長が図れるよう支援を行うため前年度並みの配分とする。			平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



調査結果に対するコメント、市民の反応等	特に稼働能力のある被保護者に対して適切な就労支援施策を実施し、自立に向けた指導をしていく必要がある。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 家庭訪問件数	件	705	564	1,000			被保護者世帯への相談体制の充実と生活支援
2 生活保護世帯数	世帯	128	117				今後の事業展開の参考指数
3							
4							